



矢野 邦夫 先生
浜松市感染症対策調整監
浜松医療センター感染症管理特別顧問

’81年名古屋大学医学部卒業。名古屋第二赤十字病院、名古屋大学病院を経て、’89年フレッドハッチンソン癌研究所、’93年 県西部浜松医療センター（2011年4月より「浜松医療センター」に病院名変更）。’96年 ワシントン州立大学感染症科エイズ臨床・エイズトレーニングセンター臨床研修修了。’97年 感染症内科長／衛生管理室長、’08年 副院長、’20年 院長補佐、’21年4月より現職。

ホームページでも、公開しています。

メディコン CDCWatch

検索

COVID-19ワクチンの 接種間隔・互換性・同時接種

CDCがCOVID-19ワクチンの使用に関する暫定的な臨床的考察を記述している (1)。その中から、「mRNAワクチンの接種間隔」「COVID-19ワクチン製剤の互換性」「COVID-19ワクチンと他のワクチンとの同時接種」について紹介する。

◆mRNAワクチンの接種間隔

- Pfizer-BioNTechおよびModernaワクチンの2回目の接種は、推奨される間隔（3週間 [Pfizer-BioNTech] または1か月 [Moderna]）にできるだけ近づけるが、推奨されるよりも早く接種してはならない。ただし、2回目接種の推奨日より4日早い猶予期間内に接種された場合は、有効と見なされる。
- 推奨される間隔を守ることが困難であり、ワクチン接種の遅延が避けられない場合、Pfizer-BioNTechおよびModerna COVID-19ワクチンの2回目の接種は、1回目の接種から6週間（42日）後まで延期できる。現在、この時間枠を超えて接種されたmRNA COVID-19ワクチンの有効性に関するデータは不十分である。

◆COVID-19ワクチン製剤の互換性

- mRNA COVID-19ワクチン（Pfizer-BioNTechおよびModerna）には互換性がない。混合ワクチンシリーズ（異なる製剤を使用して2回接種すること）の安全性と有効性は評価されていない。そのため、2回接種は同一製剤で完了する必要がある。
- 1回目の接種で使用されたmRNAワクチン製剤を確認できない、または、利用できなくなった例外的な状況では、入手可能なmRNA COVID-19ワクチンを28日間隔で接種することによって、mRNA COVID-19ワクチン接種を完了する。

- 同一のmRNAワクチン製剤が一時的に入手できない状況では、混合ワクチンシリーズよりも、同一製剤を接種するために2回目の接種を遅らせることが望ましい（最大6週間）。これらの状況で（または不注意に）、異なる製剤で2回目を接種した場合、現時点ではどちらの製剤も追加接種することは推奨しない。そのような人は、mRNAワクチンの2回目を接種して2週間以上経過していれば、完全接種者と考えられる。
- mRNA COVID-19ワクチンの後に接種されたJanssen COVID-19ワクチンの安全性と有効性は確立されていない。ただし、mRNA COVID-19ワクチンの1回目を接種したが、同一または異なるmRNA COVID-19ワクチンのいずれかで2回目を接種できないといった限られた例外的な状況（例：禁忌のため）では、mRNA COVID-19ワクチンの接種から28日以上経過したときに、Janssen COVID-19ワクチンの単回接種を検討することができる。
- mRNAのCOVID-19ワクチンの接種後にJanssen COVID-19ワクチンを接種した人は、混合ワクチンシリーズではなく、有効な単回のJanssenワクチンを接種したと考えるべきであり、Janssenワクチンを単回接種してから2週間経過すれば、COVID-19に対して十分な免疫を持つワクチン接種者であると考えられる。

◆他のワクチンとの同時接種

- これまで、COVID-19ワクチンは、他のワクチンの接種の前後に最低14日間の間隔を空けて、単独で接種することが推奨されていた。これは念には念を入れての対応であり、安全性や免疫原性（訳者註：抗原が抗体の産生や細胞性免疫を誘導する性質）の懸念によるものではない。
- 他のワクチンと同時に接種されたCOVID-19ワクチンのデータはないが、非COVID-19ワクチンの豊富な経験によると、他のワクチンを同時に接種した場合と単独で接種した場合の免疫原性と有害事象のプロファイルが類似している。
- そのため、COVID-19ワクチンおよびその他のワクチンは、タイミングに関係なく接種しても構わない。これには、COVID-19ワクチンと他のワクチンの同日接種、および14日以内の接種が含まれる。
- COVID-19ワクチンの反応源性（訳者註：免疫反応を起こす能力）が同時接種で増加するかどうかは不明である。これには、アジュバント添加ワクチンや生ワクチンのように、さらに反応源性のあることが知られている他のワクチンとの同時接種が含まれる。
- 1回の受診で複数のワクチンを接種する場合は、各々のワクチンは異なる部位に接種する。青少年および成人の場合、三角筋は複数回の筋肉内注射に使用できる。この場合、可能であれば、注射部位を1インチ（2.5cm）以上離す。
- 可能であれば、COVID-19ワクチンと、局所反応を引き起こす可能性が高いワクチン（破傷風トキソイド含有ワクチンやアジュバント添加ワクチンなど）は異なる手足に接種する。

[文献]

- (1) CDC. Interim clinical considerations for use of COVID-19 vaccines currently authorized in the United States
<https://www.cdc.gov/vaccines/covid-19/clinical-considerations/covid-19-vaccines-us.html>

こちらも公開しています。

メディコン CDCガイドライン 

製造販売業者

株式会社メディコン

本社 大阪市中央区平野町2丁目5-8 ☎0120-036-541

crbard.jp

